



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Seisansei Shimbun (5 January, 2015, Japan)

Page: 15

生産性向上を通じたアジア
各国の政策実現に貢献
アジア生産性機構(APO)
事務局長 天野 万利



アジア経済は国ごとに課題は異なるものの、全体としては2015年も堅調な成長が続くことが期待される。生産性向上は持続的な経済成長の鍵であり、加盟国でも経済成長の目標に生産性向上の指標を組み込む動きが加速している。そうした中、APOは政策提言の機能をより高めることで、加盟国の国家レベルの生産性向上の取り組みを支援していく。

その取り組みにおいて確計となるのが、加盟国生産性本部とともに現在まとめている「APOロードマップ2020」だ。「APOロードマップ2020」では地域全体の生産性目標の設定や生産性運動の原則、加盟各国の生産性活動の相互

ノベーション「緑の生産性」だが、とりわけ中小企業はこの国でも最重要テーマである。APOは、国連経済社会局など有力機関との連携・共同事業の展開および加盟国増加の働きかけを積極的に行っている。2015年も100件を超える多国籍、個別国事業を通して、人材育成を進める。具体的な活動の柱は、引き続き「中小企業の生産性向上」に

評価等を軸とし、2020年までにAPOがこの分野で先導的地位を確立する道筋を描いている。